～所信表明～

問い合わせ　政策課　☎229-3101　FAX229-3330

「津をさらに住みよいまちにするためにもっと頑張れ」と私に市政を託してくださった市民の皆様の御支援を深く胸に刻み、決意を新たに、４月27日初登庁しました。

これからの４年間、合併により実現したスリムな組織体制と健全財政を維持しながら、市民の皆様により良い行政サービスをお届けし、皆様に御満足いただける市政の実現に全力で取り組んでまいります。

これまでの取組

私が初めて市長に就任した４年前、「合併しても良いことがない」、「合併しなければよかった」という声を聞くことがありました。「多くの先人たちが様々な苦労を重ねて成し遂げた合併という偉業が無に帰してしまわないよう、このような声を無くしていかなければならない」との思いから、地域の声に耳を傾けながら一つ一つ丁寧に取り組んでまいりました。

まず、市民の生活を支える社会基盤の整備です。４大プロジェクトである、新斎場は既に供用を開始し、新最終処分場の第１期・リサイクルセンターの整備とＪＲ名松線の全線復旧は、事業完了の目処（めど）をつけました。産業・スポーツセンターも、施設本体の工事に着工いたしました。

次に、市民のアイデアを形にする施策、前に進めるべき施策にも取り組んできました。

１期目の就任は、東日本大震災の発生直後のことでした。大きくなっていた市民の災害への不安を小さくし、安心に変えていこうと、市民の皆様から頂いたアイデアを形にした津波避難ビルや津波避難協力ビルの指定、(仮称)香良洲高台防災公園の整備などの取組を進めるとともに、津市地域防災計画の抜本的な見直しも行いました。

子育て支援も充実しました。共働き世帯の増加による保育ニーズの増大に合わせ、保育所の定員を増やすことで、毎年４月１日時点における保育所待機児童ゼロを維持しています。

また、就任時には明らかになっていなかった問題や、施策を進める中で浮かび上がってきた課題にもひるむことなく取り組んできました。

津センターパレスやポルタひさいなど、これまで積極的な関与を避け、明らかにされてこなかった第三セクターの経営課題に対しては、逃げ出すことなく、冷静に対処し、解決してきました。特